2018 年度明治大学法学部
ハワイ大学春期法学研修報告書

発行:明治大学法学部

http://www.meiji.ac.jp/hogaku/hawaii/

１．教員挨拶……2

２．ハワイ大学紹介……3

３．レクチャー……4, 5

４．フィールドトリップ……6, 7

５．ハワイの生活……8

６．ハワイの魅力……9

７．スケジュール…… 10

８．ハワイ大学の先生紹介…… 11

９．プログラム概要…… 12

１０．他大学との交流…… 13

１１．研修概要／編集後記…… 14

１．教員挨拶

海外への架け橋

法学部長　村上　一博

法学部では、2013 年度からハワイ大学春期法学研修を実施しています。この研修では、ハワイ州唯一のロースクールである、ハワイ大学マノア校ウィリアム・S・リチャードソン法科大学院において、英語で法律を学ぶほか、州内の法律事務所、裁判所および政府機関の見学や州法律家協会の行事に参加するなど、盛り沢山の充実した内容となっています。

ハワイは日系人が多いという特殊な土地柄であり、また観光地としても絶大な人気を誇る場所ですので、海外経験がないという方でも比較的大きな不安を抱えることなく生活ができます。また、とくに初めて海外留学する学生のために、事前のガイダンスや現地での通訳などのサポートが整っているので、英語力に不安のある学生も安心して参加できるプログラムです。

ぜひ、ハワイ大学春期法学研修に参加し、この研修で得られた経験をもとに国際的視野を広げ、海外への架け橋を築きましょう。

異文化理解を通じて日本を知る

法学部専任教授　佐々木　秀智

この報告書は､2018 年度に実施された米国ハワイ大学マノア校における短期法学研修プログラムに参加した学生が作成した報告書です。参加者自身の体験を基に作成されたものですので、これから海外留学プログラムへの参加を検討している方々にも参考になる情報が満載です。

ある国の現行法制度が形成された背景には、様々な文化的・歴史的要素があります。特に米国法では、「歴史的継続性」がその重要な特徴として挙げられます。また各法律で用いられる英語の言葉・言い回しにも文化的・歴史的背景があります。このプログラムでも、ハワイ州の法制度のみならず、同州の文化・歴史について多く学んだと思います。同州にも、長い歴史や豊かな文化があります。その中で様々な統治が行われ、現在の法制度が形成されたのです。

このことは日本も同じです。米国ハワイの法文化・歴史を学び日本と比較することで、日本の法文化・歴史の理解がさらに深まります。外国法の文化・歴史を学ぶことは、わが国の法制度・理論の理解にとってとても有益なことです。

今回のプログラム参加者の皆さんが、ハワイ大学での法学学習を通じた異文化理解の基礎訓練の中で習得した知識と経験を生かして、今後の法律専門科目の学習をさらに深め、自らの将来を切り開いていくことを願っています。

２．ハワイ大学紹介

・ハワイ大学マノア校

・1907 年創立
・オアフ島のホノルルの北部に位置
・学生数は現在（2019 年）19,507 名（そのうち 1,170 人が留学生）
・ハワイで最大かつ最も知名度のある州立の大学
・ギャラリー、シアター、ファーマーズ・マーケットなどの施設や催し物がたくさん（マノア校 HP 参照）

↑校内の一部の様子

・ウィリアム・S・リチャードソン法科大学院

・米国弁護士協会が認定している、ハワイ州唯一のロースクール
・カリフォルニア大学バークレー校、慶應大学などの様々な大学からの卒業生がこのロースクールに入学してきています。
・法科大学院のカリキュラムとして、法務博士課程が中心となっており、全米法科大学院で 25 位以内にランクインしていると言われ、高く評価されています。

３. レクチャー

・講義の形式

講義は基本的に英語で行われます。ですが、他の法学研修とは異なり、各大学の引率の先生方による日本語での要点や補足の説明があります。そのため、英語があまり得意ではない人でも講義を理解できると思います。

また、先生によって講義の形式は異なります。パワーポイントやレジュメを使って説明を行う方、学生同士のディスカッションを求める方など、様々です。

講義の終わりには必ず質疑応答の時間が設けられ、気になる点を詳しく聞くことができます。

・講義のスケジュール

講義は 1 コマ 90 分です。1 日に 2 から 3 コマ講義があります。

通常の講義に加えて、キャンパスや図書館ツアーなども行われ、ハワイ大学の雰囲気を感じることができます。ランチタイムには友達と食堂で過ごしたり、キャンパス内を散策したりして気分転換でき、無理のないスケジュールとなっています。

・講義の内容

前半の講義のテーマ

交渉学　アメリカ法入門　日米比較法　アメリカ憲法　刑法 ハワイ先住民の権利　図書館情報調査方法

日米比較法を担当する Levin 先生は、日本語を織り交ぜながらの楽しく、わかりやすい授業を行います。今まで学んできた法知識を活かしながら、アメリカ法の基礎を学ぶことができます。

交渉学では、他大の学生とペアになって話し合います。ハワイ先住民の権利では、ハワイの歴史と制度の変遷を学びます。

刑法では、具体的な事例を取り上げて考察していきます。

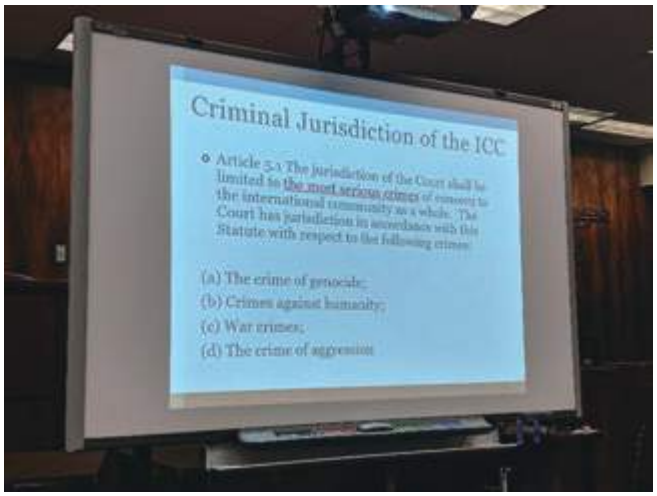
どの授業も日本とは違う印象を受け、新鮮で充実した講義でした。

後半の講義のテーマ

国際刑事法　　高齢者法　　契約法　　アジアにおける人権 労働法　　環境法　　アメリカビジネス法

高齢者法は日本にはないハワイ独自の法律です。しかし、これから高齢化の進む日本にとって参考にすべき部分の多い分野なので、とても興味深い講義となっています。

また、各講義の最後には十分な質問の時間が設けられています。先生方はこの時間をとても大事にされており、講義に関するどのような質問にも親身になって答えてくださるので、疑問はその講義内で解決することができます。



・実際に講義を受けてみて

英語で法律を学ぶという本プログラムは、なかなか日本では体験のできないものだと思います。英語での授業と聞くと不安に感じる方も多くおられると思います。しかし、日本の大学の先生方による補足はもちろん、現地の先生方もとても親切かつ丁寧な方ばかりなので、意欲があればしっかりと理解することができます。これは他の法学研修プログラムにはない魅力の一つだと感じました。

また、他大学の学生と一緒に講義を受けるため、他大学生の授業に対する意欲的な姿勢を見てとても大きな刺激を受けると思います。

法律だけでなく、人それぞれ様々なことのきっかけを掴めるとてもいい機会です。ぜひ参加してみてください。

４．フィールドトリップ

1. Federal District Court & State Circuit Court

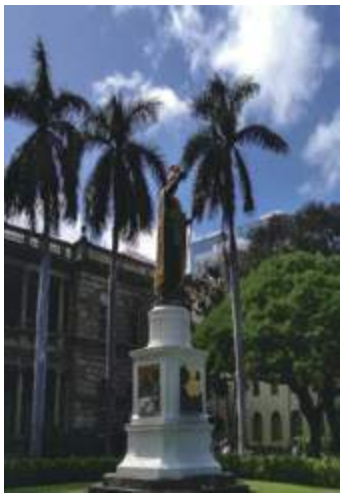
アメリカ合衆国の裁判は連邦制を採用しており、連邦裁判所と州裁判所の２つがあります。どちらの裁判所でも判事の方にお話を伺うことができ、とても有意義な時間を過ごせました。

2. Supreme Court

カメハメハ大王で有名なこの建物。中は１階が博物館、２階が裁判所となっています。ここでは日本生まれの判事の方からお話を伺うことができました。

3. Judical History Museum Tour

Supreme Court の１階にある博物館にてハワイの発展の歴史に関わる資料などを見ることができました。映像資料も見るのでお見逃しのないよう。



４．Goodsill Anderson Law Firm

ハワイにある弁護士事務所です。弁護士の方からお仕事の内容、ロースクールについて伺いました。

５．State Capital

ハワイ州議会議事堂は、ホノルルにあるハワイの州議会の会議場です。実際の会議の見学、現役の州知事のお話を伺う等、貴重な体験をすることができました。

６．National Memorial Cemetery of The Pacific

第一次世界大戦、第二次世界大戦、朝鮮戦争、ベトナム戦争などで戦死した３万人以上の兵士らの魂が眠る「国立太平洋記念墓地」。
第二次世界大戦時にイタリア戦線で死亡した多くの日系人の戦没者も眠っています。

７．Sandy Beach Park

ワイキキから東へ車で 30 分程の所にあるビーチで、砂浜が広いのでサンディ（Sandy）の名前が付いたとか、波が荒く砂が舞っているからサンディ（Sandy）の名前が付いたと言われているビーチです。

５．ハワイの生活

＜宿泊施設＞

今年のハワイ大学法学研修の宿泊先はワイキキサンドヴィラというホテルでした。ホテルならではの魅力・利点などを紹介したいと思います。メンバー全員が同じ場所に宿泊するので、お互い困ったときにすぐにフォローしあうことができますし、常に一緒に行動できて安全ですし、とても仲良くなれました。また二人一部屋で、ホームステイに比べると気を遣わずに過ごすことが出来るかと思います。私たちの泊まったホテルでは無料でビーチタオルの貸し出しやプール、足湯がついていました。またコインランドリーがあったので、洗濯がしたくなったらすぐに気兼ねなく洗濯が出来ました。洗濯機や乾燥機はすべて 25￠硬貨を用いて支払いをしなくてはいけません。日常の生活でも何かと 25￠硬貨を使用します。ハワイの主要な交通手段である「The Bus」でも毎日購入していた一日乗車券は 5.5＄をぴったり支払わなくてはならないので、25￠硬貨は常にお財布に入れておくのがおすすめです。ただし部屋に毎日置いておくチップは硬貨の場合受け取ってくれないこともあるので要注意です。またホテルの受付で両替を行ってくれます。

＜食事＞

ハワイでは多くの美味しい料理また島ならではの料理が多々あります。やはりパンケーキ、ロコモコ、ポキなどはとても美味しくおすすめです。今回はよりリアルな食事事情を紹介したいと思います。すべて外食になりますが、昼食や夕食で美味しいものを多く食べるため、物価の高いハワイではやや負担になります。そのため朝食は近所の ABC ストアと呼ばれる島中に存在するコンビニエンスストアで安価なバナナを購入し、みんなで節約していました。ABC ストアには様々な商品が存在し、お土産もここで購入出来ます。私は夜食としてブルーベリーやフルーツ盛り合わせなどを毎日食べていました。

＜交通手段＞

ハワイでの私たちの足となるのは「The Bus」です。5.5＄で１日乗り放題券を購入し、大学への通学や島内の様々な観光地への移動手段として東西南北何処へでも行けるのでとても便利です。しかし注意点として日本とは違い時間通りにバスが来ないことや都市部以外でのバス停は非常に分かりにくいです。また田舎での移動では急にバスが停車して運転手が新聞を読み始めたり、タバコを一服したりと休憩をし始めて 30 分以上足止めを食らうこともあるので、遠距離の移動では時間に余裕をもって行動しましょう。緊急の移動の際はタクシーを使うのも便利ですが、運転手にチップを多く要求されることもあるので注意しましょう。

６．ハワイの魅力

ハワイの魅力としてまず挙げられるのは自然です。きれいな海、多くの山々に囲まれているオアフ島での生活は非日常的な経験になります。ワイキキビーチで有名なワイキキ周辺では多くの観光客で賑わっており、日本人観光客も多く安心感がありました。ワイキキではロコモコやパンケーキなどのハワイアングルメを堪能できるほか、ショッピングも楽しめます。交通手段はバスで中心街は多くのバスが走っているためアクセスも便利です。

ワイキキからバスで行けるダイヤモンドヘッドは外せない観光地です。登りがいのある山で、その頂からはワイキキの街並み、雄大な自然を一望できます。またダイヤモンドヘッドのふもとでは毎週土曜日限定でファーマーズマーケットが行われており地元の食材を使った様々なグルメを楽しむことができます。

ハワイにはワイキキビーチをはじめ、カハラビーチやカイルアビーチなどといった多くのビーチがありますが、中でもおすすめなのが「天国に一番近い海」と呼ばれアメリカ NO.1 ビーチと称されるラニカイビーチです。エメラルドグリーンの海には心が奪われます。

自然のほかにも買い物や食も楽しむことができます。アラモアナショッピングセンターというハワイで一番大きいショッピングセンターでは有名なブランドが多く出店しており、中には日本よりも安く求めることができる商品もありおすすめです。買いすぎには要注意です（笑）食においては日本人好みのものが多いです。見た目もよく、サイズも大きいので思わず SNS に投稿したくなるものばかりです。美味しい食べ物がたくさんありますが、こちらも食べすぎには注意です（笑）

７．スケジュール

＜基本的な一日のスケジュール＞

7:30 頃のバスに乗って登校！（毎日 the bus の一日乗車券を購入）

9:00-15:00 講義（毎日約３コマ、１コマ 90 分）

15:00 FREE TIME！　ワイキキビーチやアラモアナショッピングセンターなどでハワイの景色を楽しみながら過ごしました！

24:00 頃 ホテルで就寝

☆DAY 1,2

長いフライトを終えて、ついに到着したハワイ！私たちを待っていたのは雲一つない青空と湿り気のない心地よい風でした！ワイキキビーチはホテルから近いところにあったので、早速ビーチに向かいました。ダイヤモンドヘッドにも登頂し、オアフ島の景色を一望しました。ハワイが初めてだった人も多く、小旅行気分で過ごすことのできた 2 日間でした。

☆DAY 3-7

ハワイ大学マノア校での授業が始まりました！先生の授業はどれも面白く、Negotiation の授業では、実際にビジネスにおける取引を体験してみたり、Criminal Law では実際にその講義の日にあった事件を取りあげて説明してくださったりなど、興味深いものばかりでした。裁判を傍聴したり普段なかなか入ることのできない最高裁判所でお話しが聞けたりするフィールドトリップも、非常にいい経験となりました。授業が終わると、海に入ったり、パンケーキやアイスを食べに行ったりして、充実した放課後を過ごしました！

☆DAY 8,9

2 回目の休日がやってきました！！天国に一番近いと言われるラニカイビーチやアラモアナショッピングセンターなどでハワイを満喫した後は、一緒に研修に来ていた早稲田大学、青山学院大学、愛知大学、琉球大学の学生たちと食事会をしました。学生だけでなく、他大学の教授とも交流できて、とても興味深いお話しが聞けました。ハワイの地で日本の他大学の方々とも仲良くなれるのは、この研修の大きな魅力の一つだと思います。

☆DAY 10-13

2 週目の講義も楽しいものが多く、質問をする学生も増えてきました。ハワイ大学で過ごす日々にも徐々に慣れてきて、大学内の学食やスターバックスで楽しむ休み時間は最高でした。夜には学生を中心に 5 大学で BBQ を開催して、先生と学生の仲も深まりました。

☆DAY 14

ハワイ最後の FREE TIME。それぞれが買いたかったものを免税店で購入したり、初日から入ってみたかった高くておいしそうなお店に入ったりと、思い残すことの無いように過ごしました。この日までに、オアフ島の有名な観光地はほぼすべて回ることが出来ました。皆と 14 日間の思い出を話しながら、最後の夜を過ごしました。

８．ハワイ大学の先生紹介

ハワイ大学での授業は各講義をそれぞれ専門の先生が担当してくださいます。
今回はその中でも、特にお世話になる先生をお二人紹介します。

・Spencer Kimura 先生

　スペンサー先生は、ハワイ大学法科大学院のご出身であり、日本語もとても堪能な方です。ハワイ大学では初めにスペンサー先生が、私たちを出迎えてくださいました。授業ごとに各先生方の紹介をしてくださり他にも私たちの質問を通訳したり先生の回答を分かりやすく説明したりもしてくださいます。

　またフィールドトリップに行く際は同行し案内してくださいます。いつも優しく穏やかな方ですが、歩くとき、特に階段を降りるときはものすごく早いので、頑張ってついて行ってください(笑)

・Mark A. Levin 先生

　レビン先生は、日米法比較や同性婚について講義をしてくださいました。レビン先生もとても日本語がお上手な方です。講義はほとんど日本語で話してくださるのでとても理解しやすかったですし、またとても話が面白い方なので笑いの多い楽しい講義でした。

　5 大学で BBQ をしたときもスペンサー先生とともに来てくださったので、いろいろなお話しも聞くことが出来ました。積極的に私たちに話しかけてくださる方です。

９．プログラム概要

‣概要

講義およびフィールドトリップを通して、英語でアメリカ法を中心に学ぶ短期海外留学プログラムです。英語での授業ですが、引率の先生方が通訳をしてくださるので、安心です。

‣期間

2019 年 2 月 23 日（土）～2019 年 3 月 10 日（日）の充実した 2 週間！

‣特徴

講義

ハワイ大学の教授の講義を受講することができます。もちろん、講義は英語で行われます。が、分かりにくい部分は各大学の引率の先生が通訳をして、私たちの理解を促してくださいます。英語力に多少の不安がある人でも、安心して講義を受講することができます。また、日本だと珍しい講義も沢山あるので、自分のやりたいことが見つかる可能性があるかも！？

放課後や休日

平日の講義は午前で終わる日や、15～16 時で終わる日など様々で、放課後はオアフ島の散策をすることができます。休日は、まさにバカンス！朝市に行ったり、ワイキキビーチで遊んだり、ショッピングを楽しむなど、南国ハワイを思う存分楽しめること間違いなしです。

他大学との交流

他大学（2018 年度は琉球大学、愛知大学、青山学院大学、早稲田大学）の法学部生、法科大学院生と共に、講義を受けます。地域性、校風が違うため、異なる価値観や意見の交換ができ刺激を受けることが多いです。プログラムが終了する頃には、5 大学合同でバーベキューをするなど仲を深めることができました。

フィールドトリップ

法学部主催のプログラムということで、裁判所、法律事務所、州議会などの法律関連施設を実際に訪れ、法律の実務的側面を見ることで知識を深めることができます。見学するだけでなく、現地で活躍していらっしゃる最高裁の判事の方やハワイ州知事の話を聞き、質疑応答をすることができます。

１０．他大学との交流

2018 年度は明治大学、琉球大学、愛知大学、青山学院大学、早稲田大学の 5 大学合同プログラムでした。琉球大学からは法科大学院生の方も 10 名ほど来ていましたが、他の 4 大学からは法学部生がおよそ 10 名ずつ参加していました

ハワイ大学で過ごす時間（講義やフィールドトリップなど）はほとんど一緒に過ごします。講義は毎日席が指定されており、両隣に同じ大学の人がこないようになっていました。授業初日はお互いに緊張していましたが、全員が軽く自己紹介をしたりアイスブレイクで話をしたりするのでなんとなく顔を覚えます。それでもやはりはじめのうちは、積極的に話すことも少なく席が隣になった人と少し話をする程度でした。

一週間一緒に授業を受けフィールドトリップでも様々な場所を訪れるうちに、なんとなくお互い馴染んできて、私たちは一週目の金曜日に早稲田大学の方々と合同でお食事会をしました。翌日土曜日には、琉球大学の方の泊まっていたホテルの部屋に 5 大学から食料を持ち寄って集まりました。ピザを温めたりお肉を焼いたりして楽しくご飯を食べました。琉球大学の方が切ってくれたパイナップルはお店で出てくるみたいなすごい盛り付けでした(笑)。2 週目からは他大学の方とも積極的に話すようになり、1 週目よりもより楽しく講義を受けられるようになりました！

2 週目の水曜日には自分たちで企画して 5 大学合同バーベキューをしました！その時は学生だけでなく引率の先生やハワイ大学のスペンサー先生とレビン先生も来てくださったので、いろんなお話しが出来たのでとても楽しかったです。

明治大学生同士も、みんながほぼ初対面で行くまでは会話もしたことなかったような状態でしたが、毎日のように放課後みんなで観光しに行ったり夕飯を食べに行ったりしていたので、学年も気にせずあっという間にみんな仲良くなりました！帰国した今でも一緒に授業を受ける友人や毎月のようにご飯に行く友人も出来ました。メンバー全員でも時々連絡を取ったり、予定を合わせて集まってご飯にも行きました。明治大学の学生だけでなく仲良くなった他大学の学生とも連絡先を交換したので、帰国してからも連絡を取ることもありますし、一緒にパンケーキを食べに行きました。

このハワイ大学法学研修では様々なアメリカ、ハワイの法律について現地で学び、実際に法が使われている現場へ訪問するという貴重な経験ができるだけでなく、友人ができるのも大きな魅力の一つだと思います。

１１．２０１８年度研修概要／編集後記

〇研修概要

・名称

　ハワイ大学春期法学研修

・研修校

　ハワイ大学マノア校ウィリアム.S.リチャードソン法科大学院

・期間

　2019 年 2 月 23 日～3 月 10 日

・滞在先

　ワイキキサンドヴィラホテル（食事無し）

・研修費用

　約 46 万円　法学部から全員に 8 万円の助成金あり

・参加人数

　10 名（全員学部生）　5 大学合わせて 50 名ほど

・単位認定

　研修後のレポートで判断し、翌年度集中法学部科目「Legal Studies Abroad」として成績評価を行い、2 単位を付与

〇編集後記

法学部 2 年（Y.H）

本研修の醍醐味はハワイ大学で各専門の先生方から法律を学び、裁判所や法律事務所、州議会など実際に法律を運用している現場でお話しを聞くことが出来ることです。州知事や最高裁判所の裁判官に直接質問することもできるので、またとない貴重な機会です。授業の内容がやや難しく、日本語での通訳もあるので、少し気が緩んでしまいますが、他大学の学生の勉強に対する熱心な姿勢に刺激を受けて勉強に対するモチベーションも高まります。

また授業後や休日など自由時間もたくさんあるので、めいっぱいハワイを満喫することもできました。楽しい仲間たちとたくさん学んで、いろんな景色を見て、美味しいものを食べる、こんなに幸せな 2 週間はないだろうというほど楽しかったです。

少しでも興味のある方はぜひ参加してみてください！必ずいい経験になると思います！

Great Memories in Hawaii